

今回、在宅血液透析（HHD）とオーバーナイト透析を含む長時間透析の現状をまとめてもらった。2021年の時点で在宅血液透析（HDD）患者数は748人であり全透析患者の0.21%である。これは、わが国では透析導入患者増加はあるが患者の高齢化が進み、透析器械が欧米のように簡単な機器はなく操作が複雑なため教育に時間がかかること、穿刺者は患者自身に限られ、良いバスキュラーアクセスがないと施行できないこと、介助者がいないと施行できない（独居人はできない）こと、物品を保管する場所があること、電気代や水道代がかかることなどが関与しており、改善すべき課題は多い。HHDによりQOLや食事の自由度が上がるが、自分自らで施行することや家庭で行うことにより介助者や家族に新たなストレス

が生じるので注意を払う必要性も理解できた。長時間透析ではより高い腎代替能が得られ、予後も患者の体調がいいことも知られてきた。働いている人にとって睡眠時に透析すると時間効率も良く、オーバーナイトが透析行われてきているが、患者安全や人員の確保など各施設の苦勞が理解できた。長時間透析の利点はわかったが、患者の望みは透析時間が短くなることでもある。これについての鈴木一裕氏の論文は興味深い。在宅・長時間透析ともに看護師、栄養士、医師、臨床工学技士の多職種の協力で成り立っていることも理解できた。本特集が、在宅、長時間透析についての理解を深め、透析患者のために役立ってくれること望む。

（伊丹儀友）

2023年（Vol. 39）特集のご案内

- | | |
|--|--------------------------------|
| No.① 糖尿病透析患者の全身管理を極める
—専門医との連携を目指して | No.⑦ 透析施設における感染症対策〔増刊号〕 |
| No.② 血液透析導入の処方 | No.⑧ 腹膜透析の展開—生き残りをかけた在宅医療 |
| No.③ 透析スタッフのメンタルヘルス | No.⑨ 在宅・長時間透析 2023—快適で長生きするために |
| No.④ もっと知ろう 透析患者の栄養と身体評価 | No.10 透析患者の希望（ホープ）を照らす |
| No.⑤ オンライン HDF の基礎から応用 | （既刊は○） |
| No.⑥ 保存的腎臓療法（CKM） | |

臨牀透析® Vol.39 No.9

© 2023 年 8 月 10 日発行
定価：2,860 円
（本体 2,600 円＋税 10%）

- ・ 2023 年 年間購読料（増刊号含む 13 冊，税込）
冊子版 39,050 円
電子版（個人のみ） 39,050 円
冊子版＋電子版（個人のみ） 44,550 円
（詳しくはホームページをご覧ください）
- ・ 年間予約購読は前金にて書店あるいは弊社宛お申し込みください。

発行人 増 永 和 也
発行所 株式会社 日本メディカルセンター
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-64 神保町協和ビル
営業直通電話 (03) 3291-3901 (代) FAX (03) 3291-3904
編集直通電話 (03) 3291-3971 (代) FAX (03) 3291-3377
e-mail dialysis@nmckk.co.jp
URL <https://www.nmckk.jp>
郵便振替 00110-2-80695
印刷所 シナノ印刷株式会社

・ Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2023, Printed in Japan
・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は（株）日本メディカルセンターが保有します。
・ **JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞
本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構（☎ 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail : info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

■ 広告申込所／株式会社 文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1 電話 (03) 3814-8541